

(現代史プリント1-4)

# I. イラク戦争はどのような戦争なのだろうか？

## 3. <ビデオ イラクとアメリカ 蜜月と敵対の20年 2>

### c.ネオコン(新保守主義)の台頭と同時多発テロ

① 1999年1月、当時のクリントン大統領の下に一通の公開書簡が提出された。

たこの公開書簡はこれまでのイラク政策を[1 **なまぬるい**]と考え、[2 **強硬**]な政策をとるよう  
に抜本的転換を求めている。

このなかでは

たとえ国連の査察が再開しても、イラクを3 **テロ支援国家** であると主張

イラクが[4 **大量破壊兵器**]を手にしつづけると中東やアメリカの同盟国[5 **イスラエル**]、そして世界の[6 **石油生産量**]の多くが危機に陥るとした。

したがってイラクの[7 **大量破壊兵器**]使用や恫喝の可能性を[8 **根こそぎ**]にすることが必要であり、このことは近いうちに9 **武力行使(戦争)**を意味すると主張した。

② 2001年に成立した[10 **ブッシュ(子)**]政権はこの提言のメンバーの多くを[11 **国防(総)**]省の要職に迎え入れ、イラク政策の見直しを始めた。

③この流れを一気に加速したのが2001年[12 **9月11日**]の[13 **同時多発テロ**]であった。  
この事件は14 **アメリカ国民にテロへの恐怖**をまきおこし、これを背景にブッシュ政権はあらたな国家安全政策をうちたてようとした。

そして、ブッシュ政権はイラクも15 **さしせまった脅威**であると主張するようになる

ブッシュは、イラクの大量破壊兵器をおさえこめない以上、[16 **脅威**]が[17 **現実化**]する前に取り除く必要を強く主張、軍事行動を示唆した。

④こうして「脅威が現実になる前に行動を起こす」という新たな国家安全政策が生み出されてきた。

[18 **テロ**]や[19 **大量破壊**]兵器に対抗するためには[20 **核**]兵器による[21 **先制**]攻撃もいとわないし、そのためには[22 **国連**]決議がなくてもかまわないという国家戦略を打ち出すようになってきた。

### d.石油をめぐる対立

①アメリカのイラク政策の背景には[23 **石油**]をめぐる問題があるとの指摘もある。

②国連は湾岸戦争の直後、イラクに対する[24 **経済制裁**]を実施、石油輸出が禁止されるなど、イラクの物価は上昇、医薬品の不足から乳幼児[25 **40**]万人が死亡したといわれる。

③国連は1995年[26 **平和のための**]を決議、イラクが[27 ]購入のために[28 ]を認める事を決めた。こうして1996年石油輸出が再開された。

④イラクはこれを利用して巧みな外交を展開、[29 **ロシア**][30 **フランス**][31 **中国**]とい

った国連安保理事国を中心に石油輸出をすすめ、経済制裁を解除することがこういった国の利益になるように働きかけをすすめた。

⑤ 1999年石油輸出は湾岸戦争以前の水準を超えるようになった。しかしイラク石油の最大消費国は[32 **ロシア**]の商社を経由した[33 **アメリカ**]でありその量の[34 **60**]％を占め、アメリカの石油消費量の10％を占める。

### e.シーア派・クルド人とアメリカ

①イラクは宗教的・民族的に複雑な状況にある。

人口の60％は権力から排除されてきた[35 **シーア**]派イスラム教徒である。  
北部山岳地帯には[36 **クルド**]人がすんでいる。

③アメリカのあとおしのもとでフセイン打倒を求める勢力が集まったが、その意見は分かれている。

シーア派は[37 **湾岸戦争**]後、ブッシュ(父)大統領の呼びかけをうけ、多くの州がフセイン打倒のため立ち上がったが、アメリカの援助は得られずフセイン軍によって鎮圧、凄惨な報復を受けた。  
こうしたアメリカの姿勢こそがフセイン政権を生き残らせたといわれている。

その背景にはアメリカがシーア派の背景にいる[38 **イラン**]をおそれ、この国に対して無防備になることを恐れたためである。

④湾岸戦争後、イラク北部の[39 **クルド**]人たちも蜂起したがやはりアメリカの支援を得られず敗れ、[40 **180**]万人が難民となって亡命を求めたが、同じクルド人の[41 **独立運動**]に悩んでいた[42 **トルコ**]は国境を閉鎖しこれを拒んだ。こうして大量の行き場のない難民が発生していた。

⑤その後、アメリカは北緯36度より北に[43 **飛行禁止**]地域を設け、この地域に[44 **自治政府**]が成立した。

⑥アメリカは1994年から[45 **クルド人**]の力を借り[46 **秘密軍事作戦**]を計画、イラン軍の拠点を攻撃したが、米政府は最終局面で計画を中止、その後、クルド人勢力は分裂、イラン軍の侵攻がすみ、多くの者が処刑された。  
これ以後、クルド人のアメリカへの47 **不信感**はつづいている。

### f.むすび

①アメリカは、一貫して自国の[48 **国益**]を追求、[49 **敵の敵は味方**]という立場でこれを利用してきた。

②アメリカは、つねに50 **自分たちは間違っていない他国は分かってくれる**という姿勢を取ってきたが、[51 **国連**]での動きや[52 **国際世論**]などからみても、こうした姿勢が通じるかは疑問である。

世界は唯一の超大国アメリカとの向き合い方をとりかねている。

